



人とまちと未来をつなぐ、国東市ケーブルテレビ

市内全域の整備計画、整備年度が決まりました

一昨年の市報くにさき11月号では、国東市全域のケーブルテレビ施設を平成20年度までに整備する事をお知らせしていました。また、その整備の内容は、すべてのケーブル伝送路網（各加入者とケーブルテレビセンターを結ぶケーブル）を光ケーブルで敷設し、テレビやケーブルインターネットサービスに加え、IP電話（市内通話無料電話）のサービス（月額基本使用料千円程度）を実施する予定である事をお伝えしていました。しかしながら、前述した整備方針やサービス内容では、多大な整備費用と施設の維持管理費が掛かります。

ります。このような状況と厳しい市の財政状況を考慮し、再度、ケーブルテレビサービスの住民ニーズを把握・検討し、使用料の軽減等、市民の皆さんが加入しやすい、有意義なサービスを提供できるケーブルテレビ施設を整備するために、当初の計画を見直す事としました。

見直しをする中で、多大な施設整備費を投資するケーブルテレビ事業は、年間事業費を細かく分け、長期にわたり整備を行うなどの議論もありましたが、既にサービスが利用出来る地域と未整備地域の公平性や住民利益を最優先し、厳しい財政事情ではありますが、市内全域に短期間で整備ができ、有意義なケーブルテレビサービスが提供できるよう、各関係機関との調整を行ってまいりました。そして、このたび、新たな整備方針、計画が決定しましたので、お知らせいたします。

施設の整備については、国の交付金を有効に活用しますが、金額に限りがあり、市内の皆さんから徴収する貴重な市税から、整備費用を投資する事となります。また施設の維持費用については、ケーブルテレビ加入後に加入者から徴収するケーブルテレビ使用料を充てる事としていきますので、「大きな維持管理費の支出は、高額な使用料の設定」に繋が



平成21年度末に 市内全域の整備をめざします

伝送路は整備費の軽減を考慮し、当初の全光ケーブル方式から、光ケーブル・同軸ケーブルを組み合わせる方式に変更します。

またサービスの内容では、携帯電話の普及など、すべての加入世帯の使用頻度や必要性を考慮し、IP電話（市内通話無料電話）サービスを中止する事としました。またこの事により、施設整備費・維持管理費が大幅に軽減され、安価な使用料の設定が可能となります。

また整備の年次計画は、平成20、21年度の2カ年と定め、

- ①平成20年度にケーブルテレビサブセンターの整備（国見町・国東町・武蔵町の市営施設にケーブルテレビの拠点となる機器設備の導入）を行う計画です。

- ②平成21年度に現在ケーブルテレビを利用出来ない市内全ての地域（安岐町、国東町の都市計画用途区域、武蔵町向陽台地区を除く市内全域）のケーブルテレビ伝送路

の敷設を行うと同時に、当該地域で、ケーブルテレビ事業説明会、加入申込みの受付を行う計画です。

充実したケーブルテレビサービスの提供、施設運営を行うためとは言え、当初のご案内から、一年間の整備期間の延長、サービス内容を一部変更した事から、市内の皆さんにご迷惑をお掛けした事について、心からお詫び申し上げます。国東市ケーブルテレビ事業は、国東市の未来を見据え、市内の情報通信環境の格差、また国東市と大分市や別府市などの県内都市部との情報通信環境の格差を解消し、快適な生活環境・経済活動の場を創り出す事業です。

ただ単にテレビの視聴状況を改善するための事業では無く、市役所と各加入者を結んだケーブルは、将来、福祉や産業をはじめ、様々な行政サービスに活用する事が出来ます。「人とまちと未来をつなぐ…」をキャッチフレーズに、市内の皆さんに有意義なケーブルテレビサービスを提供していきますので、どうぞ国東市ケーブルテレビにご期待ください。